

東日本大震災と障がい者 ～教訓を、未来へ～



2016年3月9日
AAR Japan [難民を助ける会]
野際 紗綾子

AAR Japan [難民を助ける会] の活動

- 1979年にインドシナ難民の支援を目的に日本で設立
- 政治・宗教・思想に中立な国際協力NGO
- これまでアジア・アフリカなど60を超える国や地域で活動
- 現在16カ国で活動を実施中



インドシナ難民(ボート・ピープル)



最初の活動は日本から



活動の場はすぐに海外へ

緊急支援

障がい者支援

地雷・不発弾対策

感染症対策支援

啓発(国際理解教育)

活動の5本柱

各国の大災害と障がい者



ミャンマー・サイクロン災害
(2008年)



インドネシア中部地震
(2009年)



スリランカ水害
(2010年)



ケニア干ばつ
(2011年)



フィリピン台風
(2013年)



シリア難民支援(トルコ)
(2013年～)

災害時に取り残さないで！

東日本大震災と障がい者



AAR Japan
Association for Aid and Relief, Japan
認定NPO法人 難民を助ける会



東日本大震災における死亡率： 1.03%



障がいのある方々の死亡率： **2.06%**

「障害のある人もない人も、皆が命を守り
安心して暮らすことができる町とは？」

「障害者が地域の中で健常者と共に暮らすために
必要な支援とは？」

映画「生命(いのち)のことづけ ～死亡率2倍 障害のある人たちの3.11～」より

ニーズの変化 (2011年3月～現在)

緊急

- 緊急支援物資（食料、生活用品）をオーダーメイドで配布

復旧

- 障がい福祉施設の修繕を通じた安全な「場」の確保

復興

- 障がい者の社会参加の促進
- 福祉施設授産品の販路開拓
- 障がい福祉の基盤整備

東日本大震災からの 教訓・学び: その①

つながりは、ちから。

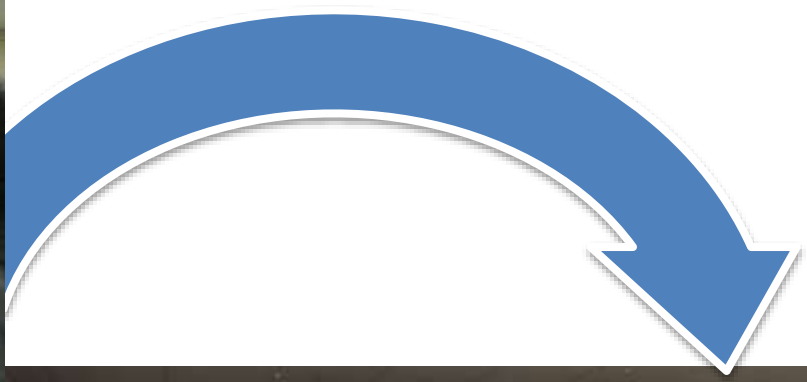
つながりは、そなえ。



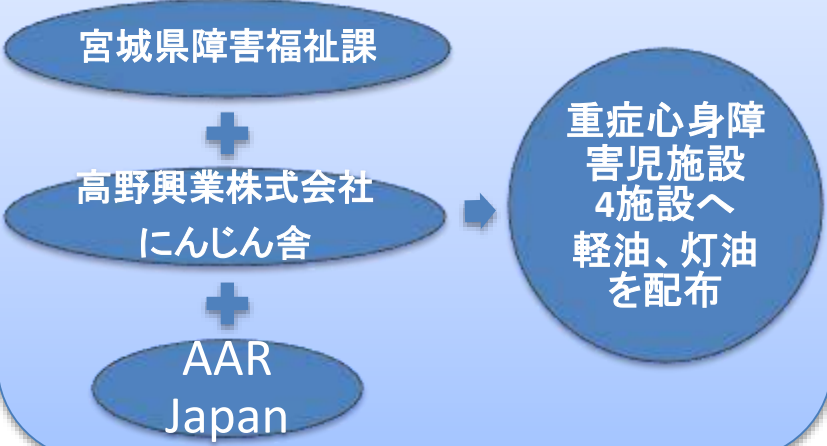
調整と連携の重要性

緊急支援活動(被災直後～一週間) : 軽油、灯油の配布

つながりは、ちから。



調整・連携のかたち



緊急支援活動(被災直後～半年) : 食料、生活用品、衛星用品の配布

つながりは、ちから。



調整・連携のかたち

JDFみやぎ支援センター



JDF本部



宮城県、岩手県の障がい福祉施設で物資配布を配布



AAR Japan



復旧支援活動（被災一カ月後～）： 障がい福祉施設の修繕

つながりは、ちから。



調整・連携のかたち

岩手県障害福祉
連絡調整会議



ジャパン・プラット
フォーム



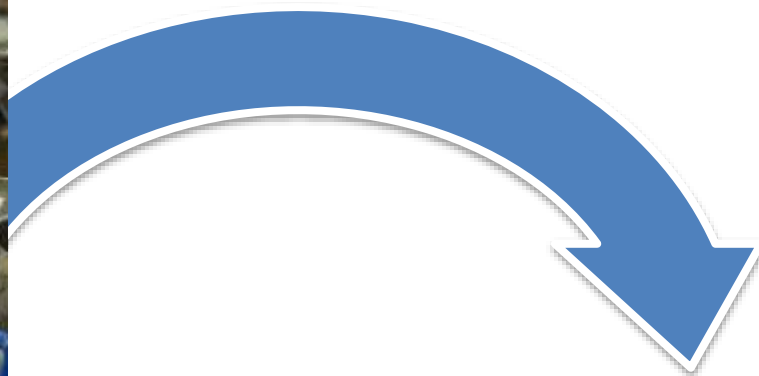
AAR
Japan

障がい福祉
施設で修繕
工事を実施



復旧支援活動(被災一年後～)： 仕事づくり、販路開拓支援

つながりは、ちから。



調整・連携のかたち

福島県の障害福祉施設



日清製粉グループ、
ジャパン・プラット
フォーム



障がい福祉
施設の販路
開拓を支援

AAR
Japan



復興支援活動(震災一年後～現在) : 防災訓練の実施

つながりは、そなえ。



調整・連携のかたち

いわき自立生活
センター、みんぷく



Global Giving、
IMC(米国支援団体)、
AAR Japan



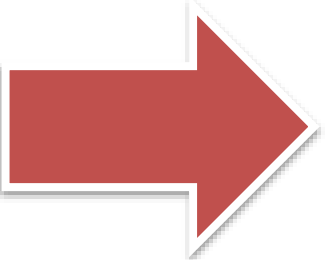
勿来第二
中学校

防災訓練の
実施



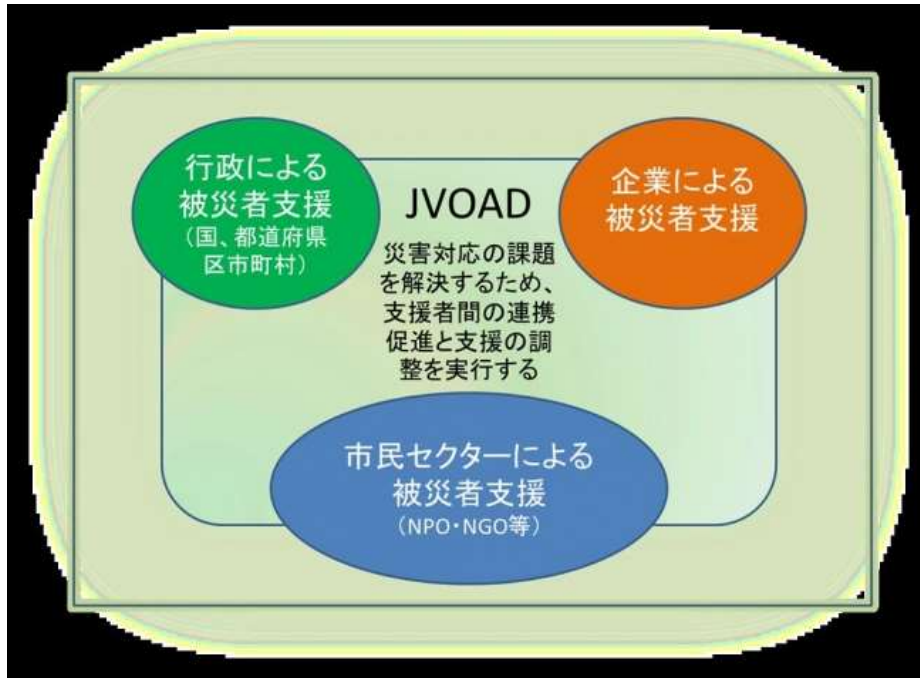
つながりは、そなえ。

防災(震災2年後) : 読売新聞記事が防災教材に



防災(震災5年後):JVOAD 災害時の連携を考える全国フォーラム

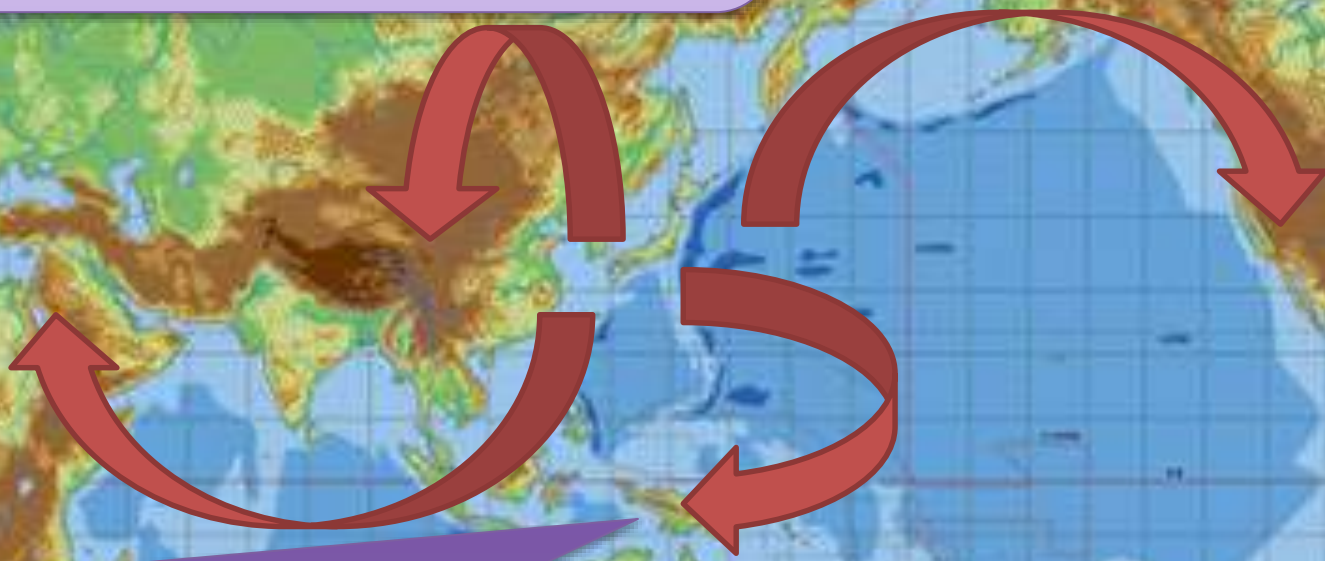
つながりは、そなえ。



分科会6「多様性に配慮した被災者支援:課題と展望」

パネリスト:池田恵子氏(減災と男女共同参画 研修推進センター 共同代表)、北原真理恵氏(認定NPO 法人茨城NPOセンター・コモンズ/たすけあいセンター Juntos)、浦野愛氏(認定NPO法人レスキュー ストックヤード 常務理事、野際紗綾子(認定NPO法人 難民を助ける会(AAR)プログラム・マネージャー)、
コーディネーター: 鶴木由美子氏(認定NPO法人 難民支援協会(JAR) 定住支援部 コーディネーター)
2016年2月12日(金)・13日(土)

東日本大震災からの 教訓・学び: その②



「障害があるがゆえに亡くなられた事実を受け止め、
当事者、関係者の語りを大切に記録し、
広く世界に伝えていくことは、今を生きる私たちの責務でもあります。」
映画「生命(いのち)のことづけ ～死亡率2倍 障害のある人たちの3.11～」より

日本から世界への発信の必要性

日本から、世界へ。



世界防災閣僚会議(震災一年4ヵ月後～):首相、外務大臣、復興大臣、行政関係者、NPO/NGO

日本から、世界へ。



A co-publication between Tudor Rose and OCHA
for the World Humanitarian Summit (Istanbul, 23-24 May 2016)



**世界人道サミット(震災5年後、2016年5月23日～24日):
”Together We Stand”で岩手、宮城、福島における障がい者支援
の課題と展望を寄稿**

ご清聴ありがとうございました。

活動やご支援に関するご連絡・お問い合わせ先

AAR Japan [難民を助ける会] 野際 紗綾子

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-12-2ミズビル7F

Tel: 03-5423-4511 Fax: 03-5423-4450 Email: sayako.nogiwa@aarjapan.gr.jp